

ちむ美らさ

第61号

発行：北部農林水産振興センター
農業改良普及課
沖縄県名護市大南1-13-11
電話：0980-52-2752
FAX：0980-51-1013

平成25年度沖縄県指導農業士・名誉指導農業士・名誉生活指導士 ～北部地区から2名の新リーダー誕生～



平成25年度沖縄県農業士等認定式(H25.9.13)

平成25年度沖縄県農業士等認定式が9月13日に県庁にて行われ、北部地区からは2名の指導農業士が認定されました。また、名誉指導農業士と名誉生活指導士として3名に感謝状が授与されました。今後も、組織の指導者や地域農業の推進者として活躍が期待されます。

指導農業士：仲栄真盛之 氏(宜野座村：カ・マコロ)



昭和61年に青年農業士に認定。JAおきなわ宜野座支店花卉部会長や、マコロ部会理事、JA青壯年部支部長等を歴任する大規模農家である。研修生受入等、担い手育成にも積極的に関わっている。

名誉指導農業士：謝花朝盛 氏(宜野座村：野菜等)



昭和54年に指導農業士に認定。県内の野菜栽培の先駆者として、大規模な野菜栽培やカク等の県外出荷に独自に取り組む等、常に先進的な技術開発や経営を行ってきた。平成24年に法人を設立。

名誉生活指導士：津嘉山徳子 氏(金武町：野菜等)



平成8年に生活指導士に認定。沖縄県生活改善実行グループ連絡研究会副会長等を歴任し、伝統的な食品加工技術を若い人に伝承したいと担い手育成にも積極的である。

指導農業士：大城淳 氏(宜野座村：カ・ベビーリーフ)



JAおきなわ宜野座支店花卉部会長を務める。環境に配慮する農業を目指し、ベビーリーフ及び葉野菜でエコファーマーや、特別栽培農産物の認定を受けている。

名誉生活指導士：當山君子 氏(恩納村：水稻等)



平成9年に生活指導士に認定。夫婦で体験農場を開設し、地域と連携した取り組みが評価され、法務大臣表彰等、様々な賞を受賞している。平成14年から現在まで、村議会議員として活躍している。



- 1P H25年度農業士等の紹介
- 2P カンキツの整枝・剪定
- 3P キクの白さび病
- 4P さとうきびの補植苗作り

☆カンキツの整枝・剪定☆

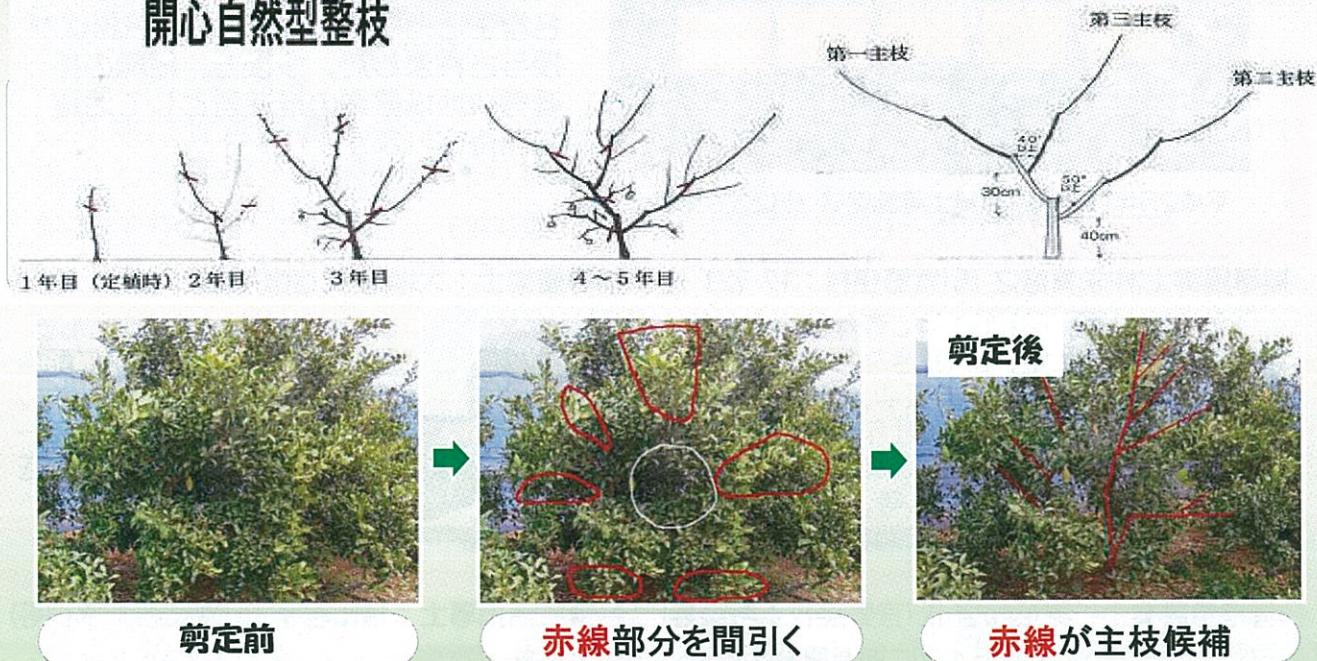
なぜ整枝・剪定が必要か

- 木を若がえらせることで、いい葉っぱを増やし、上等な実を毎年採りたい。
- 樹形を整えることで、ちゅくいむじゅくい(病害虫防除、収穫等)を楽にしたい。

整枝・剪定の方法

- 木が混みあっている園は、整枝・剪定の前に、**てい一ちはいぐしー**(1本おき)に抜きます。
- 開心自然形を想像しながら、木の骨組みを考えましょう。
- 主枝候補を2~4本決めましょう。
- 木の中心から出ている主枝候補以外の枝を1~2本間引きましょう。
- 木の高さを低くし、枝を広げることで、風の通りと光の当たりをよくしましょう。
- これまで整枝・剪定をしなかった木は、数年かけて、樹形を整えましょう。

開心自然型整枝



整枝・剪定の時期

- 基本は、芽が止まる12月下旬から芽が出る前の2月上旬が適期です。
- 表年で着花が多いと予想される場合⇒適期に、いらない立ち枝の間引きと、少し強めの切り返し剪定も行ない、予備枝(来年、実つける枝)を増やす。
- 裏年で着花が少ないと予想される場合⇒つぼみが見えたたら、切り始める。間引き剪定を主体に、4月下旬までやってもいいですよ。

連係する肥培管理

土壤分析値に基づいた土作りと施肥を心がけましょう。

キクの白さび病に注意しましょう！



図. 白さび病によるキクの葉の症状
(図中の矢印は病斑)

【発病のしくみ】

- ①胞子が風等により葉に付着。
- ②潜伏期間を経て、病斑が形成される(肉眼で確認)。
- ③胞子が破裂し、新しい胞子が飛んでいく。

※温度18～25℃、多湿条件で多発しやすい。

【畑での対策】

- ①不要な下葉・脇芽を除去し、通風を良くする。
- ②ハウスなどの施設では、湿気がこもらないように換気を良くする。
- ③発病葉は除去し、畑の外へ持ち出し焼却する。
- ④発生しやすい時期(11月～5月)には予防剤を主体とした薬剤散布、薬剤耐性菌が発現しないようにローテーション散布を行う。
- ⑤葉をよく観察し、初期発生を見逃さない。
- ⑥発生を確認したら、3日間隔・2週間を目安に、他の株へ感染していない事を確認するまで、治療剤の散布を行う。

使用する殺菌剤の種類を把握し、予防剤と治療剤の使い分け、異なる系統薬剤を組み合わせたローテーション散布等により、防除効果を高めましょう。

予防剤の種類

系統名	主な商品名
無機殺菌剤	コロナフロアブル
有機硫黄殺菌剤	兼商ステンレス ジマンダイセンフロアブル
銅殺菌剤	サンヨール

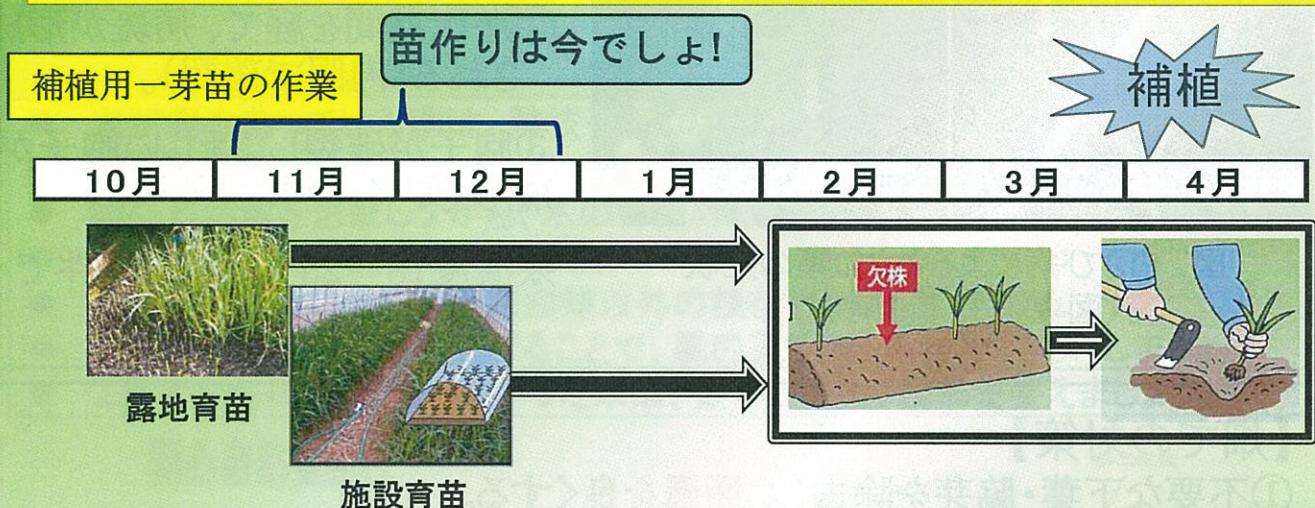
※平成25年10月現在の農薬です。
※実際に農薬を使用する時は、ラベルをよく確認し記載の使用方法を遵守すること。

治療剤の種類

系統名	主な商品名
EBI系剤	アンビルフロアブル チルト乳剤25
抗生物質殺菌剤	ポリオキシンAL水溶剤
酸アミド系剤	バシタック水和剤75
メトキシアクリレート系剤	アミスター20フロアブル ストロビーフロアブル
ベンゾイミダゾール系剤	ベンレート水和剤
その他	ピリカット乳剤

さとうきび補植苗作り（株出し・春植え）

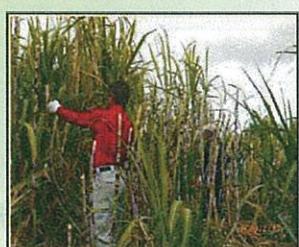
北部地域は収穫後の欠株が多く株出し収量が低くなっています。
最近は本数が少なめの品種が多く新植も補植する場合があります。



11月頃は管理作業は少なくこの時期から一芽苗育苗すると大苗が作れるので株出しや春植えの補植苗作りに適しています。

補植苗作成の目安は10a (300坪) 当たり1芽苗で300~400本です。

補植用一芽苗の作り方



①畑から苗を切る



②健全な芽を確認し
一芽苗に切る



③水又は石灰水500倍液
に一晩程度つける



④一芽苗用トレイやポット
などに苗を入れ、土を入れる



⑤堆肥などの上に苗
を置いてかん水する



⑥うまくいけば分けつの
発生した苗が作れる